



株式会社オービスの サステナビリティ経営方針

Message :

当社は、1950年広島県世羅郡にて山林作業の請負から創業し、時代の変遷とともに、生産品目やサービスを変えながら長い歴史を刻んでまいりました。
「顧客満足・社員満足」の経営理念をかかげ、ものづくりを通じて、新たな価値の創造と豊かな社会の実現に貢献、そしてお客様の信頼をベースとして木材事業、ハウス・エコ事業を中心にそれぞれ時代の要請に応じてまいりました。今後も経営環境がスピードを増して大きく変化していくことが見込まれる中、自らも変革することにより、中長期にわたる持続的な成長と企業価値の向上を実現できる事業基盤の構築を目指します。

持続可能な 社会の実現へ

社会価値・経済価値創出

目標値

事業活動

マテリアリティ

取組方針

健康経営

人財育成

DE&I

働きがい

気候変動

ガバナンス

2027年 健康経営優良法人認定
重大労働災害 0件（継続）

2026年 1on1ミーティング継続実施
2027年 キャリア支援、人材育成体系の見直し
2028年 タレントマネジメント導入
2030年 一級建築士 5名増 各事業所に1名配置
一級建築施工管理技士 9名増 各事業所に2名以上配置
一級建築施工管理技士補 10名増

2027年 人事評価制度の見直し
2027年 男性育児休業取得率100%
2030年 女性採用比率35%
2035年 女性管理職比率15%

2026年 完全週休二日制導入
2026年 コミュニケーション強化を目的としたワーキンググループの立上
2026年 従業員持株会奨励金付与率の引き上げ（5%から10%へ）
2027年 従業員満足度調査の実施
2027年 有給休暇取得率80%

2026年 Scope1,2の削減計画の策定を検討
国産杉の製材による炭素固定量及び森林吸収量の可視化
2027年 植樹活動の実施
重大品質事故 0件（継続）
他社では製材できない国産杉の大径木（直径50cm超）の全量受入（継続）

2026年 コンプライアンス研修受講 1回/年（参加率100%）
2026年 サステナビリティに関する社内広報紙の発行開始

経営資本

財務資本

自己資本比率
47.1%

物的資本

異なる原木を製材できる
ハイブリッド工場

人的資本

従業員189名
熟練した木材加工技術者
オペレーター

ミッション

「顧客満足・社員満足」
お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより、社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を回り、株主の皆様にも利益を還元していく

2035年ビジョン
新たな価値を
創造し続ける

INNOVATIVE QUALITY COMPANY

ビジョン

変化のお客様ニーズを追求し、社会に役立つものを提供し続ける会社でありたい
やりがいを感じ、心身ともに健康で働ける会社でありたい

企業理念

バリュー

チームワークとコミュニケーションによる組織力を発揮し、失敗を恐れずチャレンジし、常に挑戦者であり続ける
製品、サービスの提供を通じて、お客様の課題解決に貢献する
常に「お客様の期待を超える」

外部環境

知的資本

長年にわたり蓄積した製材ノウハウ

社会関係資本

国内全域にわたる販売・仕入ネットワーク

自然資本

ニュージーランド松
国産杉

プリンシプル

問題意識とチャレンジ精神をもって、より中身の濃いコミュニケーションをとり、改善改良を繰り返すことで持続可能な成長を追求し、企業価値の向上を目指す

健康経営の推進

従業員が心身ともに安心して働ける安全で健康な職場環境を提供し、働きがいと生産性の向上を目指す

人財育成

従業員一人ひとりの成長を企業成長の源泉と捉え、継続的な学びの機会を提供し、安心して夢や目標に邁進できる環境を実現する

DE&Iの推進

年齢や性別を問わず、全ての従業員に平等な評価や登用機会を設けることで、多様で柔軟な組織を構築する（D：多様性、E：公平性、I：包摂性）

人財価値の最大化

従業員一人ひとりの能力や個性を尊重し、働きやすく働きがいのある職場環境を提供することで人財価値の最大化を目指す
全従業員が業務に対する意識やモチベーションを高め、企業の持続的な発展につながる好循環を創出する

気候変動への対応

脱炭素社会の実現に向けて、事業活動における温室効果ガス削減計画の策定を検討するとともに、森林の持続的な循環を支えるため、木材の効率的な利用と大径木のさらなる有効活用に取り組む

コーポレートガバナンスの強化

従業員へのコンプライアンス教育の徹底とサステナビリティ方針の社内浸透等からコーポレートガバナンスを強化する

マクロ環境

社会 : CN対応による木材梱包資材の需要増加
政治・経済 : 林業振興・国産材利用推進等の政策
技術 : 高付加価値木材製品の開発
自然 : 森林資源の枯渇

ミクロ環境

顧客 : 脱炭素機運の高まり、環境規制・認証の変化
サプライヤー : 国産材活用の推進、トレーサビリティの進展
競合先 : 脱炭素・国産材推進による差別化